

「公民館の役割」について



この写真は昭和46年に建てられ、昭和63年まで利用された、プレハブだった頃の内牧地区公民館で、建替えのため取り壊される直前に写したものです。

それから今日まで約30年が経ちました。

今回の公民館だより「うちまき」はおもに“公民館の役割”を記事にしました。

通常、偶数月に1回発行している本紙を、今回特別号として発行します。

皆様にとって、公民館についての理解を深めるきっかけになれば幸いです。



1. 公民館は法律で定められた社会教育施設です

法律と聞くと難しそうに感じられるかもしれませんが、なんとなくでもいいのでイメージして下さい。社会教育法第20条によると「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」とあります。

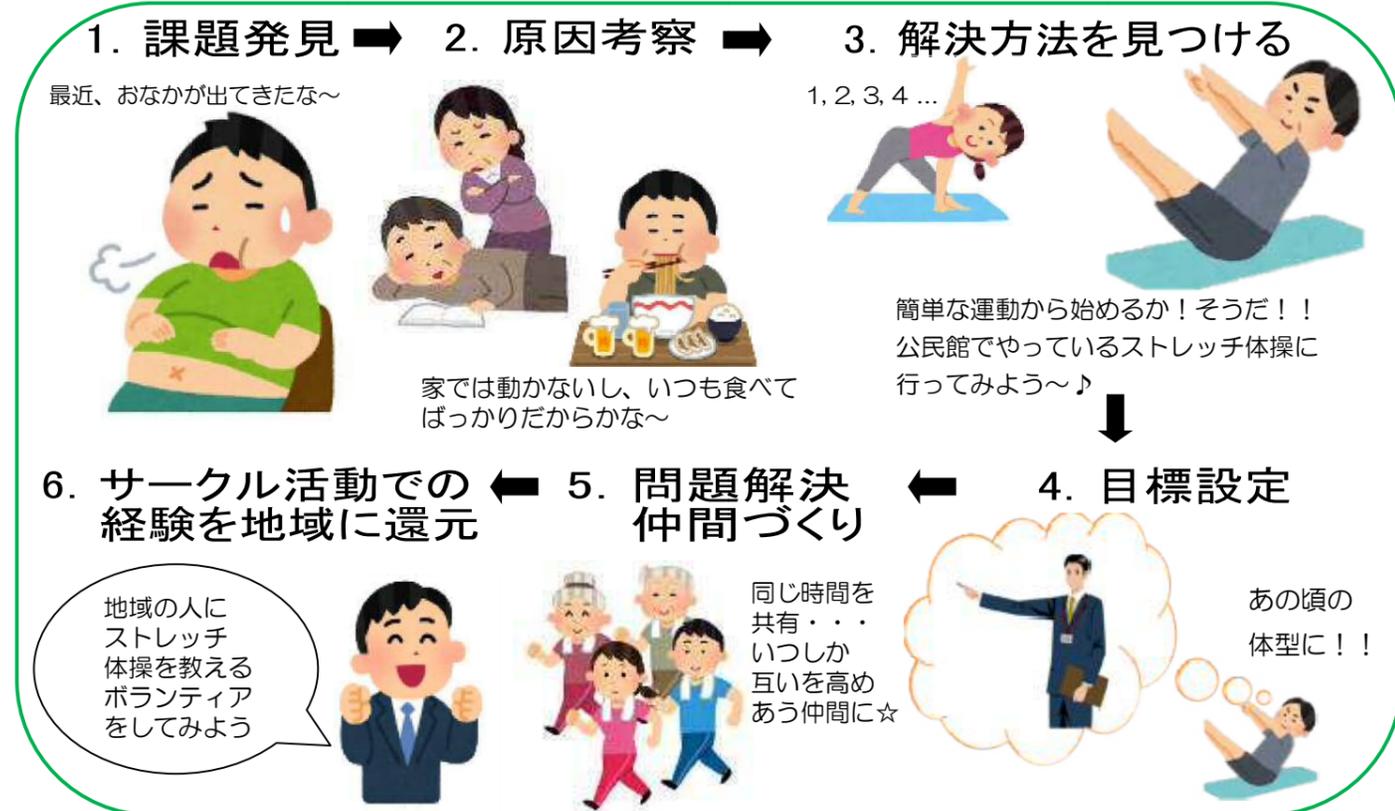
この条文にあるように、公民館は地域の人々にとって身近な学習の足場となる場所であること、人々の交流の場として重要な役割を果たすことを目的として建てられているのです。

平成28年10月現在で全国の公民館数は1万3,777館です。春日部市内にある公民館数は16館と、同規模の自治体としては多い数といえます。

2. 社会教育ってなに？簡単に言うと「学校教育」以外の学習活動です

学んだ知識を実生活に生かし、社会のために発揮してよりよい社会をつくるための活動が必要です。そのために地域や職場などで行われる学習活動を「社会教育」といいます。

例えば・・・(次のページへ)



上の図は、社会教育における公民館活動の目指すイメージです。実際にこの図のような活動をするには難しいかもしれませんが、それでも、皆様がこうした段階にステップアップするきっかけを提供し、活動を支援するのが、社会教育施設である公民館のあり方だと考えています。

3. 公民館の5つの役割

これまで、公民館について簡単に説明しました。ここからは、**地域のために存在する**公民館の5つの役割を説明します。



その1. さがす

公民館ではさまざまな機関から寄せられたチラシ・ポスターなどを掲示・配架し皆様の生活にとって役立つ情報を提供しています。本紙においても主催事業を開催するお知らせや事業報告、地域の行事などたくさんの情報をお届けしています。

また、共に集う仲間を通じ自分に必要な情報を得ることができるのも公民館の特徴です。このため、公民館は地域の皆様が情報収集しやすい環境をつくる役割があるといえます。

「何かイベントあるかな～」とチラシを探す公民館利用者さん



平成26年度内牧地区文化祭

その2. つどう

子どもからお年寄りまですべての地域の人が集うさまざまな活動の拠点となるという役割です。主催事業の内牧地区文化祭がよい例で、出演者・実行委員・地元高齢者施設の方々、共栄大学の学生など幅広い年齢層の方々が公民館につどい、1つの行事を作り上げています。



その3. まなぶ

公民館では地域の皆様の「知りたい！やってみたい！」という思いを解決するため、教養講座や体験教室を開催しています。実際に「内牧の歴史について学べる公民館事業があったらいいんだけど～」と公民館職員に相談してきてくださった地域の方の声をもとに公民館が企画した教養講座「うちまき歴史探訪ツアー」を平成29年3月11日に行うこととなりました。

また、公民館の事業は、その場限りの学習では終わらせず、学習を受けた方が地域のために主体的に考え行動できるよう「人づくり」をおこなうことをプラスワンの目的として実施しています。

平成26年度青少年体験教室
冬の比企めぐり～おがわの山で星空散歩～



その4. むすぶ

個人と個人をむすぶ、個人とサークルをむすぶ、サークルとサークルをむすぶというように、ここ内牧という地域が1つのまとまりとしてさらに発展していくために、人々をむすびつける役割を公民館が担っています。さらに公民館では、学生を講座運営のサポーターとして迎えて地域の学校と地域の人とをむすぶ、教えた人と学びたい人をむすぶ場所となっています。

公民館利用を通じて、知り合いになった
4団体のサークルのみなさん



その5. つくる

これまでに説明した「さがす」「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という段階を経て新しい発見、新しい仲間、公民館や地域活動との連携を通じて「自分をつくる」「地域をつくる」ということにつなげていくことが公民館の役割と考えています。

皆様一人一人の活動が地域を作り上げていくのです。



公民館の5つの役割 まとめ

現代社会には様々な課題があります。少子高齢化・医療費問題・防災対策・人とのつながりの希薄化など...数えきれないほどです。そんな今、地域という規模でこれらの課題を解決していくこと、地域コミュニティの重要性が再認識されるようになってきました。公民館はこれら地域の課題を関連行政や学校や地域と連携して解決できる社会を目指し、主体的に考え、行動できる「人づくり」の場です。

最後に・・・**地域の主役は地域の皆様です！
公民館は、そんな皆様に寄り添える場所でありたいと思います。**

これからも内牧地区公民館・内牧南公民館をよろしくお願いいたします。

(内牧小学校・いきいきクラブ連合会
内牧地区連合会・公民館との連携事業)
平成28年度内牧ふれあい講座
第4回「みんなで給食を食べよう！」



＜特別企画＞

公民館を利用している方に公民館について思うことを聞きました！

私にとって公民館とは・将来の公民館に望むこと

傾聴ボランティア（お話し相手）をして10年になります。その中で時々聞くのが「一週間ぶりに口をききました」という現実です。

公民館に行けば誰かに会えてお話しも出来る。会話の延長線上に「私にも出来るかな。やってみようかな！」と思えることがみつきり、そこからひとつの作品が仕上がっていけば最高です。

老若男女が集える公民館はそうした要素が詰まった「福袋」のような場所だと強く感じるこの頃です。

南京玉すだれ桜組 箕輪 町子 さん

ウクレレ教室で知り合った高齢者で結成したバンドの練習場として杉戸、幸手、中央公民館を経てたどり着いた内牧地区公民館は、豊かな自然環境、暖かな職員さんに恵まれ、メンバー全員が練習日を楽しんでいます。

職員さんから内牧地区文化祭参加のお誘いを受けた時は大きな喜びでした。行事に参加することにより、今までロビーですれ違っただけだった人たちと気軽に挨拶を交わすようになりました。

文化祭のリハーサル中に、ソーランの子どもたちが歌に合わせてフラダンスを踊り始めたのには感激しました。いずれ一緒に何かやろうかという夢も生まれてきました。

公民館へのお願いですが文化祭の場で、団体同士のコラボレーションを企画していただければ幸いです。

パーパレフェローズ 永井 恒二 さん

私にとって公民館とは音楽スタジオ兼楽しみを見つける場所兼皆さんとの交流の場兼別荘です。

公民館は、サークルや個人の練習の場としてだけでなく、地域に根ざした楽しいイベントを企画してくれたり、公民館の利用者同士が知り合いになってお互いに情報交換ができる場所です。公民館がなかったら私は、今より味気ない生活を送っていたと思うのと同様、地域住民にとってありがたいところだと思います。

高齢化が進む中で、元気な高齢者が安心して活動し、周りの人たち（違う世代の方も）との交流を深めたり広めたりできるよう、孤立化させない情報をこれからもよろしくお願いいたします。サークル内はもちろん、これまでもやってきてくれたように、いろいろな人たちとの交流の場を提供してほしいです。

安来節保存会関東 堀越 奈津美 さん

私は現役を退いてから初めて、公民館での活動に参加するようになりました。そのため、今まで疎遠だった地域の方々とも、好きな絵画の取り組みを通じ知り合うことができました。

また、それまで気づかなかったいろいろな事柄を知ることができるようになりました。

このような場を提供してくれる公民館に感謝しています。

これからは、同世代だけでなく、子どもから若者、大人まで世代を越えた活動や結びつきがさらにできたら・・・と思っています。

内牧絵画同好会 桑原 清 さん

編集後記

私は今年度初めて公民館勤務となりましたが、この1年公民館がもつ地域の生活文化の振興や住民交流の拠点などその役割の大きさを実感してきたところです。

今後も職員一同、公民館の役割を一層果たせるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。（館長）

公民館のブログでもさまざまな情報、重要なお知らせを掲載しています。
[内牧地区公民館 ブログ](#)
または[内牧南公民館 ブログ](#)
と検索するかQRコードを読み取ってご覧ください。

